

中島 なおき



羽生を変える力になる!



子供にツケをまわさない!

略歴 ●S47年11月生まれ A型 184cm 82kg ●埼玉栄高校普通科 ●日本福祉教育専門学校社会教育学科 ●日本大学法学部卒 ●児童福祉施設、社会福祉協議会勤務を経て ●H19年、H23年市議会議員一般選挙連続当選 ●H26年羽生市長選挙にて次点落選 ●選挙後、家族の生活を守るため、民間企業に就職 ●H27年市議会議員一般選挙にて市議選史上最高得票で当選 ●R元年市議会議員一般選挙にて再び最上位当選 ●家族:保育士の妻 長女(19歳)次女(17歳) ●趣味:山登り 洗車 ジョギング ●県政躍進地方議員の会代表 (大野元裕埼玉県知事当選に尽力) NPO法人地方議会制度研究センター副代表理事

発行 中島直樹事務所 348-0071 羽生市南羽生4-17-2 「ゼロからの挑戦日記。」 中島なおき 検索
TEL 070-6488-4588 ① japanist0422@live.jp 連日更新中!

令和3年9月定例会が閉会!

9月1日から27日の27日間の日程で、令和3年9月定例会が開かれました。市長提出議案として、令和2年度一般会計歳入歳出決算、各種特別会計決算、水道事業、下水道事業会計決算、令和3年度一般会計補正予算(ワクチン接種体制確保事業、葛西親水公園機能移転等補償、ふるさと応援寄付事業、学習PC用電源アダプター購入など)教育委員の任命など12議案と諮問3件、議員提出の意見書が上程されました。審査の結果、令和3年度一般会計補正予算以外、賛成全員、賛成多数で原案どおり認定、可決、承認、同意されました。私、中島は全ての議案に賛成しました。

中島と保泉議員で

補正予算の修正案を提出 ちよつと待った!

ふるさと応援寄付事業 業務委託料 200万円を削除すべき!



羽生市観光協会への業務委託 認めることができない主な理由



- 理由①** 業務委託先を「一般社団法人羽生市観光協会」ありきとし、不透明に随意契約する点。公正に※プロポーザル方式を採用し選定すべき。
- 理由②** 今年度も世界キャラクターさみっとin羽生が延期されることになった。担当課職員の業務量は減少しており、現況では職員の労力をふるさと応援寄付の業務に傾注することが出来るはず。
- 理由③** 観光プロモーション課と観光協会の業務の線引きが明確でない。羽生市が業務委託として発注しておきながら、市職員が協会の業務を行う可能性が否定できない。(会長は羽生市長、事務局長は市職員OB)
- 理由④** 新規事業であるにもかかわらず、当初予算時に説明はなく、年度途中に突然に事業を始めようとしている。
- 理由⑤** 羽生市観光協会は、羽生市からの補助金や委託料ありきで運営されているように思える。令和元年度に一般社団法人化した利点をいかし、自らの力で事業展開、資金調達する努力を存分にすべき。

賛成 7

保泉 野中
丑久保
新井 中島
柳沢 齊藤(万)

反対 6

峯 青
齊藤(隆)
西山 増田
松本 江原

ギリギリでしたが、
修正案が可決!
(※議長は採決に加わらない。)

羽生市の財政は羽生市観光協会の打ち出の小槌ではない!
※プロポーザル方式とは? 複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること。

令和3年9月定例会

中島なおき 市政を問う!
52回目の一般質問

※紙面の都合により、質問通告文のみを掲載

法令順守の意識をしっかりとつべき

●(株)羽生の里のその後

昨年12月定例会の一般質問で(株)羽生の里の里の問題点を指摘した。その後どのような改善がなされたのか
市長自身に法令違反の自覚はあったか
羽生めし得チケット発行事業について
事業決定の経緯
構成団体ではない市観光協会が埼玉県電子申請サービスを使用したことは是非
個人情報管理
市職員が発行事務を行っていた理由
市HPのバナー広告費の有無
観光プロモーション課と観光協会の業務の線引き
市役所内部からも疑問の声が上がっている執行部は把握しているのか
内部統制、コンプライアンス意識の欠如



観光協会の自主事業のほが。なぜ?

(株)羽生の里のその後について「市長自身に法令に違反をしているという自覚はあったのか」の質問に対して市長は「認識があった」と答弁。これは想定外でした。

問題は羽生めし得チケットの発行事業です。この事業は羽生市が観光協会に補助金(事務費350万円)を交付し、観光協会の自主事業としました。にもかかわらず、基本的に市町村しか使用できない埼玉県電子申請サービスも使って申し込み受付が行われました。このシステムは市職員しか操作は出来ません。さらに、このご時世に集まった個人情報観光協会に横流し。市HPのバナー広告費も無料だったとのこと。

終わってみれば、観光協会に事業を任せおきながら感染症対策を理由に、広報から申し込み受付、チケット引き換え業務までも市職員が関わっていたのです。これは、(株)羽生の里において、株式会社業務を公務員である市職員が行っていたことと構図が全く同じ。(株)羽生の里の経営の過ちを認め反省していると議会答弁しておきながら、別の場所で同様のことを行う。これは極めて悪質です。

羽生めし得チケットの発行事業の場合、羽生市が行えば、補助金など必要ありません。埼玉県電子申請サービスを使うことも問題ありません。個人情報保護をわざわざ外部組織に渡さなければならぬというリスクもありません。市役所組織の業務の適正を確保するための体制を構築していくシステム。いわゆる内部統制が市役所組織内で機能していないだけでなく、コンプライアンスに対する意識が著しく欠如、欠落している自覚そのものが見受けられないという印象を強く受けました。

このことが、上記の修正案提出のきっかけのひとつになりました。



覚えてますか??

令和2年 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策 特別定額給付金 ひとり一律10万円

羽生市の 給付総額	54億4,480万円	事務諸経費は 含まず	
●未申請世帯	76世帯 84名	●給付辞退者	7世帯 9名
●宛先不明	30世帯 32名	●書類不備	3世帯 3名
●単身死亡者	11世帯 11名	●期間外申請	1世帯 2名

羽生市では**合計128世帯 141名が未給付**

●羽生めし得チケット発行事業

新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛に伴い、市内飲食店では通常営業が出来ない状況が続きました。そこで、地域経済を維持・活性化を目的とし、市内飲食店等を応援するため、**上乗せ率50%の前売り食事券**を発行しました。これまで、令和2年、3年と2度事業化されています。

●無所属県民会議 新人発掘プロジェクト 参加者募集!

1期生の募集は終了。2期生はR4年春ごろの予定です。

県民会議 新人発掘プロジェクト 検索

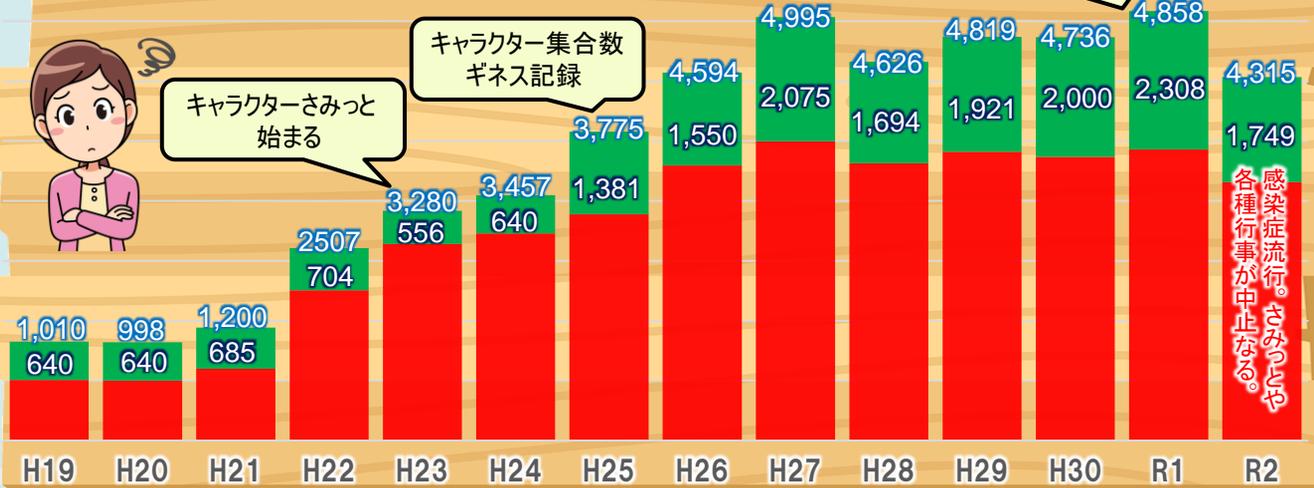
我々の生活の
何が変わったのか？

14年間で観光関連費が激増！

現市長就任以降

膨れ上がる観光費の推移

■ 観光費全体 ■ 観光協会補助金
観光協会を一般社団法人化 【万円】



キャラクターさみっと
始まる

キャラクター集合数
ギネス記録

感染症流行。さみっとや
各種行事が中止なる。

・羽生市観光協会 会長は羽生市長。自分が会長を務める団体にこれまでなんと！
約1億8,000万円の補助金を交付。(令和元年度は、これまでの最高額約2,300万円の補助金)

・令和元年度に羽生市観光協会を一般社団法人化。しかし、観光プロモーション課は利害関係にある観光協会と同室で日常業務を行っている現状。R2年度の減少は感染症流行により、市内外の行事が中止となったため。

・キャラクター集合のギネス記録。その効果は市政のどこに現れた？単なる一過性の話題作りだったのではないか？

・羽生市が観光交流100万人を目指し、増え続ける観光費。その具体的な効果の検証がなされないまま14年が経過。

・キャラクターさみっとを市政発展の起爆剤にする！とは言ったはず。盛り上がるのは年に1度だけ。近年衰退傾向？

・観光行政に注力し、羽生市の税収は増えたのか？人口は増えたのか？市内の商工業は潤ったのか？

増え続ける観光関連費の裏側で

※2 経常収支比率の推移

※3 R2年度から算出法が変更。
比較のため旧算出法での数値を掲載 【%】



高い3市

川越市 99.8%
さいたま市 98.9%
日高市 98.0%

低い3市

深谷市 85.6%
戸田市 85.6%
秩父市 86.7%
熊谷市 87.0%

行田市 96.7%
加須市 89.3%
久喜市 93.1%
鴻巣市 93.4%

※2 経常収支比率とは？ 市税や国から交付される普通交付税など、毎年度決まって入ってくるような収入を経常的収入という。その収入の中から、職員の人件費、扶助費(生活保護費など)、公債費(ローンの返済)といった支払う義務のある経費や、公共施設の維持管理経費など、毎年固定的に支出しなければならない経費にどれだけ使われたかを示したものが経常収支比率。数値が高くなると、住民要望に応えられなかったり、突然の災害時の対応や、新たな住民サービスを行えないなどの支障が出る。国は助けてくれない。

一般家庭でいえば、毎月の給料に占める食費や光熱費などの生活費やローン返済額の割合のこと。この割合の数値が低ければ将来のために貯金をしたり、家の増改築など、いろいろなことにお金を使えるということになり、逆に数値が高ければ生活費とローンの返済だけで精一杯の状態ということになる。

現市長が就任して、まもなく4期16年。

確かに就任以降、市政の流れは大きく変わりました。

しかし、最近では観光費に予算を割くだけでなく、事務手数料の値上げ前副市長の選任、ごみ処理行政、羽生インター周辺開発の迷走等 釈然としない判断が目につきます。

羽生の未来を共に考えよう！

羽生市長選挙は

令和4年(来年)5月中下旬

人口減、少子高齢化で
社会構造が変わっても

税収が減り市財政の
硬直化が進んでも

それでも
目指すのか？



中島なおきの

「政治活動」と「選挙」を支えてください！

中島は「地盤、看板、カバンなし」。正真正銘、ゼロから政治活動を始めました。積極的に活動をすればするほど支出が増えるのが現実であり、資金不足に悩まされています。中島の真面目でしがらみのない「政治活動」と「選挙」を支えていただける健全なカンパ(献金)を募集しています。合わせて、政治活動用ポスター(作成予定)を貼らせていただけるお宅を募集しています。連絡はオモテ面まで。

【振り込み先】武蔵野銀行 羽生支店(普通)1028912
中島なおきを応援する会